

1 魅力ある農産業都市・磐田について

(1) 本市農業の現状と魅力ある農業経営について

- ① 海老芋、茶、米など、多様な農産物があるが、生産者や農業経営の現状と課題を伺う。

また、農業者の所得向上と安定した農業経営の実現に向け、今後どのような施策を進めていく考えか伺う。

- ② 農業機械や施設等への設備投資は、生産性向上や農業経営の安定化を図る上で重要である。農業者の競争力強化に向け、本市として今後どのように支援していく考えか伺う。

- ③ 農業者と企業や大学等が持つ技術や知見を結びつけ、農業現場の課題解決や新たな挑戦につなげる「オープンイノベーション」について、本市における取組の現状と課題を伺う。

また、本市の強みである「ものづくり産業」との連携を含め、農業者と企業等をつなぐ機会や仕組みづくりを今後どのように進めていく考えか伺う。

- ④ 本市農産物の販路拡大に向け、首都圏企業等とのネットワーク形成やビジネスマッチングなどの取組について、現状と課題を伺う。

また、こうした取組を新たな市場への展開につなげるため、本市は今後どのように取り組んでいく考えか伺う。

- ⑤ 農業者の高齢化や離農が進む中、今後、担い手が引き受ける農地の増加が見込まれる。本市における担い手への農地集積の現状と課題を伺う。

また、農地の集積・集約化を図るため、今後どのような取組や支援が必要と考えているか伺う。

(2) 次世代農産業と新たな成長産業について

- ① A I やドローン、I C T 等を活用したスマート農業は、作業の省力化や効率化、さらには生産性や品質の向上を図る上で有効な手段である。本市におけるスマート農業の導入状況と普及における課題をどのように認識しているかを伺う。

また、普及に向け、本市としてどのような支援が必要と考えているか伺う。

- ② 農業生産に加え、加工、流通、販売等の関連企業や産業との連携・集積を進め、農業とものづくり生産等との連携による産業クラスター形成の可能性をどのように捉えているか伺う。

また、地域未来投資促進法も視野に、今後どのような展開が考えられるか伺う。

- ③ 種苗、生産技術、食品開発等、農業や食を取り巻く技術革新が進む中、フードテックをはじめとする食農産業には、農業とものづくり産業に強みを持つ本市にとって、新たな成長分野となる可能性があると考えているが、本市はその可能性をどのように認識しているか伺う。

また、企業や研究機関等との連携も含め、今後どのような展開が考えられるか、本市としての関わり方と併せて伺う。

(3) 次世代につなぐ将来を見据えた磐田の農業について

- ① 農業者の高齢化や担い手不足が進む中、次代を担う人材の確保が重要と考える。本市における新規就農者の確保、就農後の定着の現状と課題を伺う。また、就農後の定着や経営の安定に向け、今後どのように支援していく考えか伺う。

- ② 将来の農業を支える人材の裾野を広げるためには、若い世代が農業を知り、触れ、その魅力や仕事としての可能性を知る機会が重要と考える。学校教育や農業体験、農業者との交流などの現状と課題を伺う。

併せて、こうした取組を将来の就農や農業に関わる仕事への関心にどのようにつなげていく考えか伺う。

- ③ 農業者の高齢化や担い手不足、気候変動、技術革新など、本市農業を取り巻く環境は今後さらに大きく変化することが予想される。一方、本市には多様な農業と全国有数のものづくり産業という強みがある。農業を生産だけでなく、ものづくり、加工、流通、販売、研究開発等と結びつけ、新たな価値を生み出す産業へ発展させていくことが重要と考える。農業とものづくりを融合した本市の将来像と今後の政策の方向性について伺う。